

令和6年度 文書館専門講座

これからの 歴史資料の楽しみ方

～デジタルアーカイブの可能性～

令和6年9月7日(土)

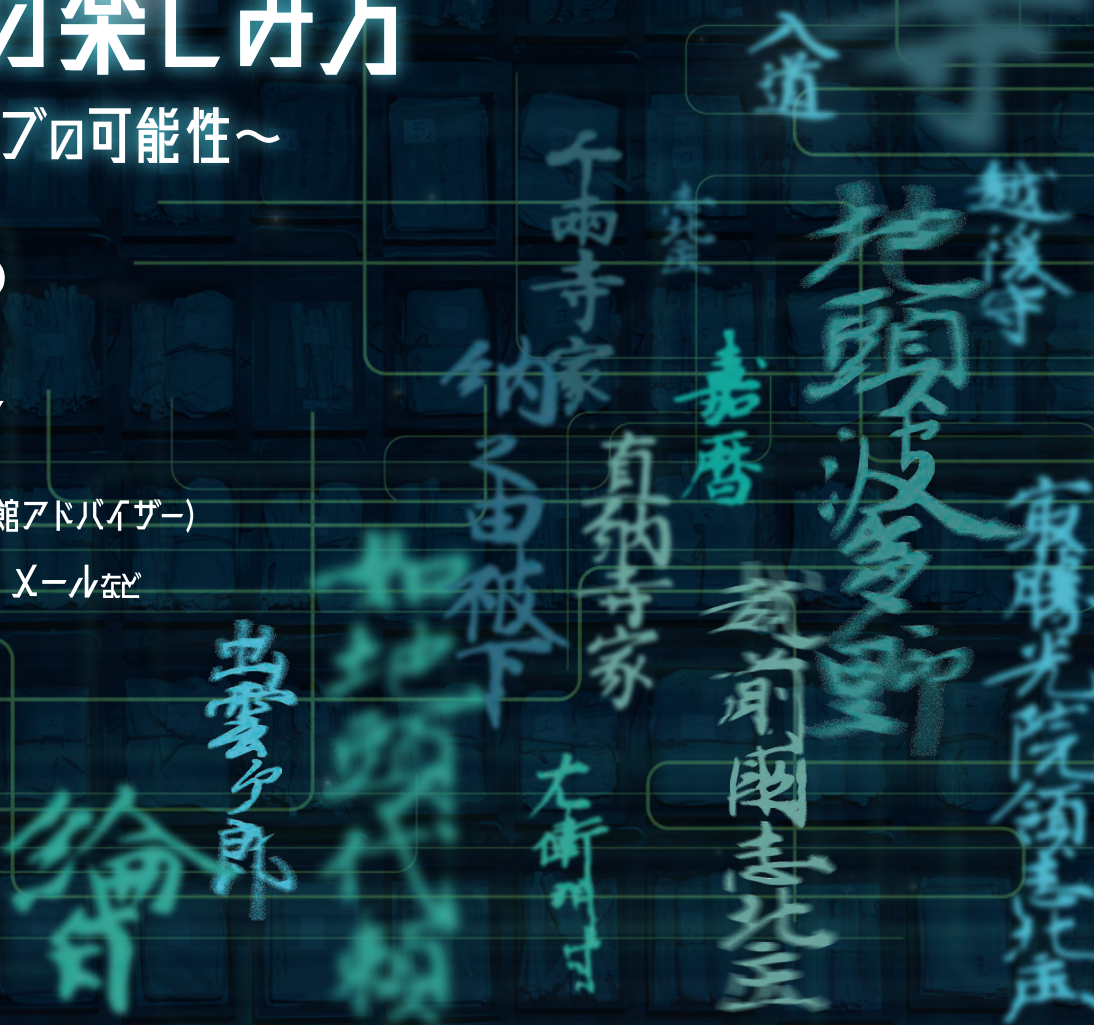
13:30-15:00

福井県立図書館多目的ホール

[講師] 福島 幸宏氏
(慶應義塾大学文学部准教授、当館アドバイザー)

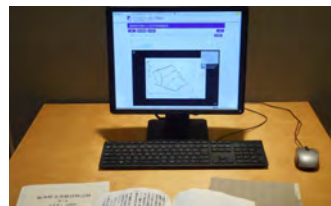
[申込方法] 申込みフォーム、電話、メールなど

[定員] 40名 *申込必要、先着順



新たな歴史資料の楽しみ方について 学んでみませんか？

近年、文書館・図書館・博物館などが所蔵する文化資源を電子データ化する「デジタルアーカイブ」という取り組みが広がっています。本講座では、国宝「東寺百合文書」のデジタル化に取り組んだ研究者が、デジタルアーカイブを活用した歴史資料の楽しみ方について、福井県の事例も交えてわかりやすくお話しします。



デジタルアーカイブ福井

デジタルアーカイブ福井は、文書館・図書館・ふるさと文学館の共同アーカイブシステムとして平成31年4月から運用を開始しました。現在は資料の目録情報を中心に一部資料についてはデジタル画像を公開、県の関係機関や国立公文書館、国会図書館との連携により福井県外・国外においても幅広く活用されています。